

4 迅速な災害対応や情報発信に向けて

浸水センサ実証実験の設置箇所を決定

近年、豪雨による浸水被害や河川の氾濫が頻発しており、市は、浸水の状況をいち早く把握し、迅速な災害対応を行うことが重要となっています。今回、国土交通省が行う浸水センサの実証実験に参加し、浸水センサの特性や情報共有の有効性等を実証していきます。

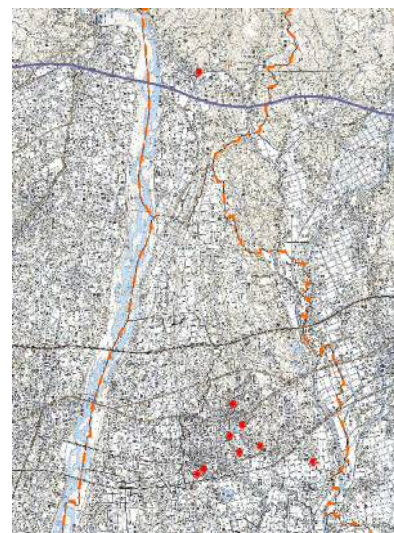
1 設置目的

浸水の危険性のある地域に設置し、リアルタイムにその状況を把握する実証実験を今年度末まで実施します。

2 設置場所

過去に浸水履歴のあるエリアのうち道路や排水路など10カ所を選定しました。

見付地区2カ所
中泉地区3カ所
今之浦地区1カ所
西貝地区1カ所
御厨地区1カ所
竜洋地区1カ所
豊岡地区1カ所



3 活用内容

- ①道路冠水、内水氾濫の早期把握
- ②迅速な避難判断
- ③通行規制の早期対応

4 全体のスケジュール

令和5年4月 モデル地区採択
令和5年8月 センサ設置
令和5年9月 実証実験開始

